

日本の民謡とおどり

シリーズ

みんなよう 中部篇 自慢

全三巻

製作 英映画社
 演出 西尾泰輔
 撮影 福田寅次郎
 解説 高橋博

ゆしが
 国々の
 なつかしい
 郷土民謡を
 たずねて



製作

はなぶさ

株式会社

英映画社

東京都中央区八重洲 4-5
 電話東京二八局 (28) 4680・3414 番

みんなにいたしました生まれ、たれにも唄はれる唄わしがくに
 がくにさのみんようをたずねて——わたしたちは中部日本に
 旅をしました。みんなはそのくにそのまちなこのころであ
 りあたたかい情でもあります。わたくしたちはしばしその
 旅情にしたって見たいと思います。まづ日本一の富士のくに
 清水港は次郎長どんのくに茶どころ静岡の茶つきり節——伊豆
 韮山の代官江川担庵公が農兵を訓練する
 ために作ったと云う農兵節それから開港
 の歴史の裏に悲しい犠牲の一生を終えた
 唐人お吉の唄、日本の屋根とも云える中
 部山岳その伊那谷に古くから唄いつた
 えられた伊那ふし、北陸の一中心地抒情
 ゆたかな柏崎の三階ふし、日本海の荒海
 に浮ぶ佐渡ヶ島——其処のおけさ節、わ
 たくしたちは太平洋から日本海へ唄と踊
 りの旅をつづけました。そのくにぐにの
 みんなは、そのくに全部の人の心から
 の唄であり、踊りでありました。其処の
 土、其処の波によってつちかはれて来た
 みんなようでありました。さアみんなで踊
 るよ唄お、わしがくににおらがくにさのみ
 んよう自慢！



節 節 節 節 節
 田 坑 多 ば ら や
 炭 博 お は ん
 黒 炭 博 お は



16%版 価格 中部篇 ¥39,000円・九州篇 16,000円

はなぶさ
株式会社 英映画社

東京都中央区八重洲4-5 電話東京二八局(28)4680・3414番